

本会・他学会水環境関連行事一覧

開催期日	行事	開催地	案内記事 掲載巻号
2022年			
11月 17日(木)	第28回膜分離技術セミナー	東京,オンライン	本号
25日(金)	日本海水学会 海水資源・環境研究会 海水資源・環境セミナー2022	千葉	本号
25日(金)~26日(土)	日本腐植物質学会第38回講演会	千葉	45巻10号
12月 2日(金)	日本水環境学会関西支部総会・講演会	大阪	本号
13日(火)	第21回上下水道膜セミナー・見学会	福岡	45巻10号
13日(火)	FY2022 JDA FORUM 水資源の有効活用と最新動向 ~水再利用の新展開, 海水の総合利用, 水処理へのDX展開~	オンライン	本号
2023年			
1月 24日(火)	第68回日本水環境学会セミナー【学会設立50周年記念事業】 PFOS, PFOA およびその他のPFASをとりまく 国内外の現状と課題(仮)	オンライン	本号
2月 11日(土)	川の再生交流会	埼玉	45巻10号
3月 15日(水)~17日(金)	第57回日本水環境学会年会	愛媛	本号
4月 17日(月)~21日(金)	10th International Conference on Acid Deposition, ACID RAIN 2020 ~The Future Environment and Role of Multiple Air Pollutants	新潟	45巻6号
9月 20日(水)~21日(木)	第26回日本水環境学会シンポジウム	大阪	
10月 22日(日)~26日(木)	The 9 th IWA-ASPIRE Conference & Exhibition 2023	台湾	本号
2024年			
3月	第58回日本水環境学会年会	福岡	

第57回日本水環境学会年会への発表・参加申し込みを予定される方へ(入会案内)

2023年3月15日(水)~17日(金)に愛媛県松山市にて第57回日本水環境学会年会が開催されます。年会での発表申し込みはインターネットによる申し込みのみとなっております。また、発表申し込みの際に会員資格確認があり、会員資格のない方および入会手続き中の方の発表申し込みは受け付けられません。学生会員は1年ごとの資格ですので、昨年度の会員の方も改めて入会申込が必要です。

年会発表予定者は入会申し込み手続きを済ませ、会員番号を取得している必要があります。(インターネットでの入会申し込み手続き、年度会費の入金確認後、入会が承認されるまで会員番号は発行されませんので、お気をつけください。)

また、年会参加予定者につきましては、2023年2月13日(月)までに同様の入会申し込み手続きをしていただければ会員価格でご参加いただけます。

入会案内 URL : <https://www.jswe.or.jp/joining/index.html>

なお、発表申し込み締め切りは2022年11月17日(木)24:00です。

本会関連行事

第57回日本水環境学会年会 研究発表申し込み案内

第57回日本水環境学会年会を次の要領で開催いたします。多数の発表申し込みを期待いたします。諸否は年会実行委員会が行いますので、予めご了承ください。

1. 概要

内 容 一般研究発表
(口頭発表とポスター発表のセッション)

期 日 2023年3月15日(水)～17日(金)3日間

会 場 愛媛大学城北キャンパス
(〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番)
ハイブリッド開催を予定しています。

交 通 松山空港から空港リムジンバスでJR松山駅まで約15分、松山市駅までは約23分。
市内からキャンパスへは市内電車環状線の赤十字病院前下車、北へ徒歩約2～5分。
<https://www.ehime-u.ac.jp/about/access/>

2. 一般研究発表の募集

内 容 別表に示す内容の水環境に関する調査研究成果

応募資格 本会会員に限ります。

登壇資格 登壇者(ポスター発表の代表発表者を含む)は正会員(個人正会員、団体正会員)および学生会員とします。**会費の入金が確認され、入会が承認されると会員番号が発行されます。仮会員番号のままでは発表申し込みはできません。**1名が2つ以上の演題に関して登壇者(ポスター発表の代表発表者を含む)となることはできません。

申し込み方法

- 1) 発表申し込み受付は本会のホームページからのみです。ホームページ(<https://www.jswe.or.jp/>)の当該バナーから第57回日本水環境学会年会発表申し込みページにお進みいただき、必要事項を記入の上、送信してください。返信のない場合は、迷惑メールフォルダー等に入っていないことを確認のうえ、下記問い合わせ先にご連絡ください。同じ内容の申し込みを何度も続けて送信されると、システムトラブルの原因となる可能性が大きいのでご注意ください。また、複数のタブまたはウィンドウで発表申し込み画面を開いて操作すると、登録内容が混乱することがあります。発表申し込み画面を複数開かないようにしてください。
- 2) 申し込み期限は**11月17日(木)24:00**です。締切日近くにはアクセスが集中し、接続が難しくなる場合があります。早めのお申し込みをお願いします。**期限厳守とし、以降の申し込みは受け付けません。**
- 3) 発表申し込みに必要な会員番号は、個人正会員は「水環境学会誌」を送付する封筒の住所ラベルの下にあ

る6桁の数字、団体会員は同様のSまたはKで始まる4桁の数字、学生会員は22で始まり最後にSのつく5桁の数字です。

発表申し込みの際、必ず登壇者の会員番号を入力してください。他の番号を入力されると受付できないことがありますのでご注意ください。

- 4) 研究発表内容の分類は別表にしたがってください。最新の分類にしたがってください。
- 5) 発表形式の希望(口頭発表、ポスター発表、どちらでも可)を選択してください。なお、会場の都合でご希望に添えない場合もあります。一般ポスター発表は、1日目か2日目のどちらかのみポスター掲載(コアタイム)になります。
- 6) 発表申し込み・講演要旨・当日発表は同じ言語にしてください。学会当日、日本語で発表される場合には、発表申し込みを日本語で行い、講演要旨も日本語で作成してください。英語で発表する場合には、発表申し込みを英語で行い、講演要旨も英語で作成してください。
- 7) 申し込み時の発表題目、発表者名、発表要旨は、受付後の変更はできません。申し込み内容は各自でお控えの上、講演集原稿の題目、発表者名は申し込み時と同じにしてください。講演集原稿の内容が申し込み時と異なる場合には、発表をお断りすることがありますのでご注意ください。共同発表者の記載漏れ、氏名(フリガナ、漢字)の間違ひについても十分ご注意ください。
- 8) 申込内容に間違いがあった場合、使用言語の変更を希望する場合には、発表受付番号と登壇者氏名を明記の上、nenkai@jswe.or.jpに速やかにご連絡ください。
- 9) 登壇者(ポスター発表の代表発表者を含む)の変更は、事前にご連絡の上、共同発表者に限ります。**年会学生ポスター発表賞の発表者については、変更のご連絡が遅れると発表自体をお断りすることがあります。**

発表形式・発表時間

- 1) 口頭発表はすべてMicrosoft PowerPointでの発表となります。口頭発表は現地参加での発表を行い、オンラインでリアルタイム配信されます。現地参加が困難な方はオンライン参加での口頭発表を受け付けますが、事前に講演番号、登壇者、発表題目及び事由を明記のうえ、nenkai@jswe.or.jpにご連絡ください。詳しくは、ホームページ<https://www.jswe.or.jp/event/lectures/index.html>に掲載の各種要領をご覧ください。
- 2) 口頭発表は1演題につき15分(発表10分、質疑応答5分)を予定しています。
- 3) ポスター発表(一般ポスター発表、クリタ賞2次審査発表、ライオン賞発表)は、事前にWEB掲載用のポスター原稿を提出いただきます。事前提出のポスターについてはWEB公開(質疑コメント可)が行われます。年会開催期間中は指定の会場・時間におけるポスターの掲示とコアタイム質疑を行う予定です。ポス

ター発表はオンラインでのリアルタイム配信は行いません。

年会優秀発表賞（クリタ賞）

博士前期課程（修士課程）の大学院生による研究発表のうち、とくに優れたものに対し年会優秀発表賞を授与します。1次審査通過者によるポスター発表（2次審査）は年会2日目のみに行われます。

年会学生ポスター発表賞（ライオン賞）

学部生、高等専門学校生（高専生）、短大生によるポスター発表のうち、とくに優れたものに対し年会学生ポスター発表賞を授与します。ポスター発表は年会初日のみに行われます。

問い合わせ先

（公社）日本水環境学会 第57回年会係

〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7

グリーンプラザ深川常盤201号

Tel：03-3632-5351 E-mail：nenkai@jswe.or.jp

3. 講演集の原稿について

口頭発表およびポスター発表のいずれも講演集の原稿（講演要旨原稿）を作成していただきます。原稿書式はホームページの執筆要領 <https://www.jswe.or.jp/event/lectures/index.html> をご参照ください。

作成方法 原稿枚数はA4判1枚（図表も含む）とします。

提出方法 学会ホームページの会員専用ページよりご提出ください。

個人会員（会員専用ページ）：

<https://www.jswe.or.jp/member/index.php>

団体会員：

<https://www.jswe.or.jp/member/Ctl-2-17.php>

提出期限 2023年1月19日（木）アップロード完了を期限とします。以降は原稿を受け付けません。

著作権 講演集に掲載された要旨の著作権は、本会に帰属します。

4. 講演集の電子化について

2015年度（第50回）から、日本水環境学会年会の講演集は電子ファイル（ダウンロード方式）版が標準になりました。講演集の公開日（発行日）は年会開催日の1週間前を予定しています。なお、追加料金での冊子版講演集のご提供も予定しています。

5. 参加申し込み

年会の参加申し込み案内は、本誌12月号およびホームページに掲載予定です。登壇者も必ずお申し込みください。

6. 特別講演のご案内

下記の日程で特別講演を予定しています。

期日 2023年3月16日（木）15:15～16:15（予定）

参加費 無料（日本水環境学会年会の参加登録がない場合でも参加可能です。）

7. 託児室の設置

年会会場内に託児室（無料）を設置する予定です。2023

年2月15日（水）までにお申し込みください。締め切り日以降のお申込みには対応できませんのでご了承ください。

お問い合わせ・申し込み E-mail：takuji@jswe.or.jp

8. 問い合わせ先

（公社）日本水環境学会第57回年会係

Tel：03-3632-5351 E-mail：nenkai@jswe.or.jp

「年会優秀発表賞（クリタ賞）」候補者の募集

第57回日本水環境学会年会において、博士前期課程（修士課程）の大学院生を対象とした年会優秀発表賞受賞候補者を募集します。多数の方々の応募を歓迎します。開催方法によっては審査方法、表彰方法に変更がある可能性があります。

表彰の趣旨 研究意欲の啓発を目指し、博士前期課程（修士課程）の大学院生を対象として、優秀な研究成果発表を表彰します。

表彰対象者 年会において口頭発表を行う博士前期課程（修士課程）在学の学生会員に限ります。対象者以外の申し込みは発表自体をお断りすることがありますのでご注意ください。

応募方法 本会ホームページから年会研究発表を申し込む時に年会優秀発表賞（クリタ賞）への応募を選択し、所定の事項を記入の上、送信してください。

審査方法

1次審査 講演要旨原稿の内容に基づき審査します。1次審査通過者には、2次審査の詳細を通知します。

2次審査 年会2日目にポスター発表を行い、投票に基づいて受賞者を決定します。

結果通知および表彰等

1) 1次審査結果は発表申し込み時に登録したE-mailアドレス宛にE-mailにより応募者全員に通知します。

2) 2次審査結果（受賞者）は、年会2日目午後に行われる表彰式において発表します。受賞者には、表彰式において表彰状のほか副賞を授与します。受賞者以外で1次審査を通過しポスター発表を行った方には、表彰式において参加賞を授与します。原則として表彰式に出席していない場合は受賞できません（修了式、体調不良、法事等を事前に連絡した場合を除く）。

3) 1次審査を通過しポスター発表を行った方全員を懇親会へ招待します。

スケジュール概要（締切以降は受け付けません）

1) 2022年11月17日 応募締め切り

2) 2023年1月19日 講演要旨原稿提出締め切り

3) 2023年2月上旬 1次審査結果の通知

4) 年会 2日目 ポスター発表による2次審査

5) 年会 表彰式 2次審査結果の発表、受賞者の表彰と副賞の授与、参加賞の授与

別表 日本水環境学会年会 研究発表分類表

大分類/ General classification カテゴリー/Category	中分類/Middle classification フィールド、メソドロジー/ Field, Methodology	分類テーマ、キーワード例 (主たる研究対象や手法に関する分類 テーマ、キーワードの例)	Examples of Keywords
A 水環境 Water environment	1 河川 river	有機物、栄養塩類、懸濁物質、無機イオン、重金属、内分泌攪乱物質、農薬、微量化学物質、汚濁負荷、ポイント・ノンポイントソース、溶存酸素、界面活性剤、変異原性物質、アオコ、富栄養化、植物プランクトン、動物プランクトン、底質、汽水域、干潟、藻類、赤潮、貧栄養化など	organic compound, nutrient, suspended solid, inorganic ion, heavy metal, endocrine disruptor, pesticide, agrochemical, micropollutant, pollution loading, point/non-point source, dissolved oxygen, surfactant, mutagen, blue-green algae, water bloom, eutrophication, phytoplankton, zooplankton, sediment, brackish waters, tidal flat, algae, red tide, oligotrophication, etc.
	2 湖沼 lake		
	3 海域・沿岸 sea/coast		
	4 湿原 estuary, wetland		
	5 湧水 spring, sour water		
	6 流域・流域管理 watershed/watershed management	水資源、循環利用、地下水、排出負荷測定、排出源推定、排出負荷削減、水質保全など	water resource, recycling of water, groundwater, measurement of pollution loading, estimation of pollutant source, reduction of pollution loading, conservation of water quality, etc.
	7 生物・生態系 living thing/ecosystem	二枚貝、魚類、水生植物、海草、海藻、生物濃縮、食物連鎖、藻場、ベントス、微生物生態、生育場など	bivalve, fish, aquatic plant, macroalgae, bioaccumulation, food chain, sea grass bed, benthos, microbial ecology, habitat, etc.
	8 指標 index	総合指標、理化学的指標、生物指標、健康関連微生物、環境基準など	composite index, physical and chemical index, biological index, health-related microorganisms, environmental quality standards, etc.
	9 モデル model	水質、生態系、流出、浄化予測、汚濁負荷推定、水理など	water quality, ecosystem, runoff, prediction of purification, estimation of pollution loading, hydraulics, etc.
	10 自浄作用 self-purification	自然浄化、浄化機構、富栄養化、水理、水文、直接浄化など	natural attenuation, remediation mechanism, eutrophication, hydraulics, hydrology, direct purification, etc.
	11 気候変動 climate change	地球温暖化、局地的豪雨、浸水/災害対策、渇水、調査研究など	global warming, local heavy rain, flood/disaster countermeasure, drought, survey research, etc.
	12 生態系サービス ecosystem services	生態系サービス、生態系機能、自然資本、グリーンインフラなど	ecosystem services, ecosystem function, natural capital, green infrastructure, etc.
	13 その他 others		
B 土壌・地下水 Soil/Groundwater	1 土壌・地下水汚染 soil and groundwater contamination	土壌、地下水、硝酸、揮発性有機化合物、重金属、ヒ素、水理、モデル、バイオレメディエーション、微生物、活性炭処理など	soil, groundwater, nitrate, volatile organic compounds heavy metal, arsenic, hydraulics, model, bioremediation, microbes, activated carbon treatment, etc.
	2 浄化技術 remediation technology		
	3 その他 others		
C 上水・用水・再生水 Drinking water/ Utilize water	1 水源管理 water source management	水源、有機物、海水淡水化、重金属、微量化学物質、農薬、濁度、臭気物質、凝集沈殿、ろ過、吸着、オゾン、紫外線、膜、消毒、健康関連微生物、消毒副生成物、給配水、再増殖、気候変動、リスク評価、リスク管理、水質事故など	water source, organic matter, seawater desalination, heavy metal, micropollutant, pesticide, agrochemical, turbidity, odorous compound, coagulating sedimentation, filtration, adsorption, ozone, UV, membrane, disinfection, health-related microorganisms, disinfection byproduct, water distribution, regrowth, climate change, risk assessment, risk management, accidental water pollution, etc.
	2 浄水処理・管理 water treatment/management		
	3 水質評価 water quality evaluation		
	4 再生水 reclaimed water		
	5 浄水場排水・スラッジ処理 waterworks wastewater/sludge treatment		
	6 その他 others		
D 排水処理 処理方式 Wastewater treatment - treatment process	1 活性汚泥法 activated sludge process	標準活性汚泥法、オキシデーションディッチ法、膜分離活性汚泥法、生物ろ過法、生物活性炭、固定化担体、グラニュール法、UASB法、メタン発酵、嫌気性消化、凝集沈殿、ろ過、吸着、浮上分離、膜、オゾン、塩素、紫外線、電解処理、促進酸化処理、消毒副生成物、健康関連微生物、	conventional activated sludge process, oxidation ditch process, membrane bio-reactor (MBR), biofiltration process, biological activated carbon, immobilized carrier, granular sludge, UASB, methane fermentation, anaerobic digestion, coagulation sedimentation, filtration, adsorption, air flotation, membrane separation, ozone, chlorine, UV, electrolytic treatment, advanced oxidation processes,
	2 生物膜法等 biofilm process		
	3 嫌気性処理 anaerobic treatment		

D	排水処理 処理方式 Wastewater treatment - treatment process	4	物理処理 physical treatment	生物学的窒素処理（硝化、脱窒、ア ナモックス等）、直接浄化、人工湿地 など	disinfection byproduct, health-related microorganisms, biological nitrogen removal (nitrification, denitrification, ANAMMOX, etc), direct purification, constructed wetland, etc.
		5	化学処理 chemical treatment		
		6	消毒 disinfection		
		7	生物学的窒素処理 biological nitrogen removal		
		8	人工湿地 constructed wetland		
		9	その他 others		
E	排水処理 除去・回収対象物質 Wastewater treatment - materials for removal/recovery	1	微量化学物質／難分解性有機物 trace chemicals/persistent organic compound	内分泌攪乱物質、医薬品、難分解性 有機物、その他微量化学物質、生物 学的窒素除去、生物学的リン除去、 晶析法、ストリップング法、重金属、 希少金属など	endocrine disruptor, pharmaceutical and personal care products (PCPs), trace chemicals, biological nitrogen removal, biological phosphorus removal, crystallization method, stripping, heavy metal, rare metal, etc.
		2	窒素・リン nitrogen/phosphorus		
		3	金属類 metals		
		4	塩分除去 desalting		
		5	高濃度有機物 highly-concentrated organics		
		6	その他 others		
F	排水処理 排水の種類 Wastewater treatment - wastewater type	1	下水／生活雑排水／し尿 sewage/domestic wastewater/ night soil	下水道、浄化槽、農集排、コミュニ ティプラント、コンポストトイレ、 鉄鋼業、電子産業、食品産業、醸造 業、畜産業など	sewage, Johkasou, rural community sewerage, community wastewater treatment plant, composting toilet, steel industry wastewater, electronic industry wastewater, food industrial wastewater, brewing industry wastewater, agricultural wastewater, etc.
		2	工場排水 industrial wastewater		
		3	食品産業排水 food industrial wastewater/ agricultural wastewater		
		4	その他 others		
G	排水処理 除去機構解析 Wastewater treatment - analysis of treatment mechanism	1	生物処理モデル biological treatment model	活性汚泥モデル、嫌気性モデル、ろ 過モデル、堆積モデル、ポピュレー ションダイナミクス、PCR法、FISH 法など	activated sludge model, anaerobic reaction model, filtration model, sedimentation model, population dynamics, polymerase chain reaction (PCR), fluorescence in situ hybridization (FISH), etc.
		2	物理化学的処理モデル physical-chemical treatment model		
		3	遺伝子解析 genetic analysis		
		4	その他 others		
H	排水処理 排水回収 低炭素対応 その他 Wastewater treatment -wastewater recovery, Low carbon, other	1	排水回収 wastewater recovery,	排水回収、再生利用、造水処理など	wastewater recovery, water reclamation, zero liquid discharge, etc.
		2	省エネ・創エネ energy conservation/energy production	省エネ・創エネ、温暖化防止、メタ ン発酵、水素発酵、熱回収、微生物 燃料電池など	energy conservation, energy production, prevention of global warming, methane fermentation, hydrogen fermentation, thermal recycle, microbial fuel cell, etc.
		3	地球温暖化 global warming		
		4	微細藻類 microalgae		
		5	その他 others		
I	汚泥・廃棄物処理、 バイオマス Sludge/Waste treatment	1	汚泥処理 sludge treatment	嫌気性消化、メタン発酵、下水汚泥、 資源化処理、減容化処理、コンポ スト、浸出水、畜産廃棄物、評価指標、 バイオマスエネルギーなど	anaerobic digestion, methane fermentation, sewage sludge, recycling, volume reduction, composting, leachate, livestock waste, evaluation index, biomass energy, etc.
		2	廃棄物処理 waste treatment		
		3	バイオマスエネルギー変換、バ イオマス資源化 biomass energy conversion, biomass resource recovery		

		4 その他 others		
J	毒性・健康影響 Toxicity/Health effects	1 毒性評価 toxicity assessment 2 生物影響 biological effects 3 健康関連微生物 health-related microorganisms 4 その他 others	下水、河川、地下水、湖沼、海域、浸出水、健康関連微生物、細胞毒性、変異原性、水生生物、生物濃縮、生態系影響、リスク評価、指標生物、DNA マイクロアレイ、内分泌攪乱作用など	sewage, river, groundwater, lake, sea, leachate, health-related microorganisms, cytotoxicity, mutagenicity, aquatic organism, bioaccumulation, ecosystem impact, risk assessment, index organism, DNA microarray, endocrine-disrupting effect, etc.
K	試験・分析法 Test/Analysis	1 化学分析 chemical analysis 2 生物学的分析 biological analysis 3 バイオアッセイ bioassay 4 その他 others	機器分析、GC/MS 法、LC/MS 法、簡易分析、センサー、内分泌攪乱物質、金属元素、微量有機化学物質、健康関連微生物、PCR 法、ハイブリダイゼーション法、バイオセンサー、培養細胞、水生生物など	instrumental analysis, gas chromatography/mass spectroscopy analysis, liquid chromatography/mass spectroscopy analysis, simple analysis method, sensor, endocrine disrupting chemicals, nonmetal element, organic micropollutant, health-related microorganisms, polymerase chain reaction, hybridization, biosensor, cultured cell, aquatic organism, etc.
L	総合評価・管理 Comprehensive evaluation/Management	1 技術/システム評価 technology/system evaluation 2 生態リスク評価/管理 ecological risk assessment/management 3 環境動態 environmental fate 4 維持管理 maintenance 5 財政評価 monetary evaluation 6 その他 others	省資源・省エネルギー、コスト、LCA、二酸化炭素発生対策、気候変動、温暖化防止、リスク管理、アセットマネジメントなど	natural resources saving, energy conservation, cost evaluation, LCA, CO ₂ emission countermeasure, climate change, prevention of global warming, risk management, asset management, etc.
M	環境教育・国際協力 Environmental education/International cooperation	1 環境教育 environmental education 2 国際協力・海外調査 international cooperation/overseas research 3 その他 others	環境保全活動、環境学習、地域参加、環境計画、地球環境、文化交流、技術普及など	environment conservation activity, environmental learning, community involvement, environment plan, global environment, cultural exchange, technology propagation, etc.
N	水環境文化 Water environment culture	1 景観、都市設計 landscape/urban planning 2 地域、暮らし、歴史、伝統 region/life/history/tradition 3 その他 others	景観、都市設計、デザイン、暮らしと水、親水、行政、ホテル、文化交流など	landscape, urban planning, design, life and water, water park, government administration, firefly, cultural exchange, etc.
O	震災・復興 Impact of Earthquake or Tsunami/Restoration	1 放射性物質 radioactive substance 2 震災 impact of earthquake 3 その他 others	放射性物質、挙動、除去、分析など 被害、復旧、自然再生など	radioactive substance, behavior, removal, analysis, etc damage, restoration, regeneration of nature, etc
P	特別企画 Special Project	1 開催支部企画 project by the host branch 2 その他 others		
Q	A～P 以外 Others	1 その他 others		

注：2017 年度に中分類の変更があります。選択時にはご注意ください。
複数の希望セッションに希望順位をつけて選択してください。

付記 年会優秀発表賞（クリタ賞）受賞の博士前期課程（修士課程）修了者は、国際会議発表助成（クリタ賞国際会議発表助成、毎年5月に募集予定）の助成候補対象（40歳未満で応募年度の個人正会員又は学生会員に限る）となります。

問い合わせ先

（公社）日本水環境学会 年会優秀発表賞（クリタ賞）係
Tel：03-3632-5351 E-mail：nenkai@jswe.or.jp

「年会学生ポスター発表賞（ライオン賞）」 候補者の募集

第57回日本水環境学会年会において、**学部生、高等専門学校生（高専生）、短大生**を対象とした年会学生ポスター発表賞の受賞候補者を募集します。多数の方々の応募を歓迎します。開催方法によっては審査方法、表彰方法に変更がある可能性があります。

表彰の趣旨 研究意欲の啓発を目指し、**学部生、高専生、短大生**を対象として優秀なポスター発表を表彰します。

表彰対象者 年会においてポスター発表を行う**大学学部、高等専門学校、短期大学**在学の学生会員に限ります。対象者以外の申し込みは発表自体をお断りすることがありますのでご注意ください。

応募方法 本会ホームページから年会研究発表を申し込む時に年会学生ポスター発表賞（ライオン賞）への応募を選択し、所定の事項を記入の上、送信してください。

審査方法 年会初日にポスター発表を行い、投票に基づいて受賞者を決定します。

結果通知および表彰等

1) 審査結果（受賞者）は、年会2日目昼に受付に掲示して発表します。受賞者には、表彰式において表彰状のほか副賞を授与します。原則として表彰式に出席していない場合は受賞できません（卒業式、体調不良、法事等を事前に連絡した場合を除く）。

2) 受賞者を懇親会へ招待します。

スケジュール概要（締切以降は受け付けません）

- 1) 2022年11月17日 応募締め切り
- 2) 2023年1月19日 講演要旨原稿提出締め切り
- 3) 年会 初日 ポスター発表による審査
- 4) 年会 2日目昼 審査結果の発表
- 5) 年会 表彰式 受賞者の表彰と副賞の授与

問い合わせ先

（公社）日本水環境学会
年会学生ポスター発表賞（ライオン賞）係
Tel：03-3632-5351 E-mail：nenkai@jswe.or.jp

海外在住外国人会員の年会発表に対する 費用助成制度「国際招聘賞」 JSWE-IDEA Water Environment International Exchange Award 第57回日本水環境学会年会の助成対象者の募集

本会では、水環境分野の国際交流・国際協力の促進を目的として、本会年会で研究発表を行う海外に在住する外国籍の個人会員・国際連携会員に対して、来日費用等の助成を行っています。

2023年3月に愛媛大学（愛媛県松山市）で開催される第57回年会での研究発表予定者から、助成の対象者を下記のとおりに募集します。奮ってご応募ください。

この助成制度は「いであ株式会社」殿のご出捐（ご寄付）により実施するものです。

〈募集の手引き〉

応募資格 海外に在住する外国籍の個人会員および国際連携会員（<https://www.jswe.or.jp/joining/index.html>参照）で、第57回日本水環境学会年会において研究発表を予定する者

助成内容 年会・懇親会への招待、および年会参加のための渡航費・滞在費の一部助成（一律10万円を予定）。COVID-19の状況等によって開催方法が変更された場合は助成内容も変更になる可能性があります。

助成対象 若干名

応募方法 年会の研究発表申し込み手続（2022年11月17日（木）締切）を行った後に、下記の提出書類を学会事務局まで提出すること

提出書類

1. 応募者の略歴、発表題目、受付番号、要旨（所定書式あり、下記URL参照）
2. 主な発表論文の別刷り3編（PDF可）

所定書式 下記のいずれかからダウンロード

<https://www.jswe.or.jp/awards/idea/index.html>

<https://www.jswe.or.jp/eng/awards/idea/index.html>

提出期限 2022年11月18日（金）必着

提出先

（公社）日本水環境学会 水環境国際招聘賞 選考委員会
郵送の場合：〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7

グリーンプラザ深川常盤201号

E-mailの場合：kokusai@jswe.or.jp（@は半角）

合否通知 選考結果については、2022年12月末日までに応募者に通知する。

【学会設立50周年記念事業】 第68回日本水環境学会セミナー PFOS, PFOA およびその他のPFASをとりまく 国内外の現状と課題（仮）

ペルフルオロオクタン酸（PFOA）について2003年に

USEPAが「人間にとっておそらく発がん性物質である」と発表して以降、多くの研究がなされてきました。2020年5月28日付け環境省水・大気環境局長通知「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の施行等について」において、水環境に係る暫定的な目標値として 50 ng L^{-1} （ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）およびPFOAの合算値）が設定され、さらに2021年3月26日付け環境省水・大気環境局長通知「ペルフルオロヘキサンスルホン酸（PFHxS）について」において、優先的に知見の集積を図るべき物質としてPFHxSを要監視項目に位置付けることが決まりました。2020年度には環境省により各都道府県の排出源となり得る施設周辺等143地点において、有機フッ素化合物全国存在状況把握調査が実施されるなど、PFAS（ペルおよびポリフルオロアルキル物質）の水環境における挙動を知ることの重要性が増しています。本セミナーでは、行政機関、研究機関、大学などから各分野の専門家をお招きし、最新情報および今後の展望についてご講演いただきます。

主催：日本水環境学会

日時：2023年1月24日（火）13:00～（予定）

場所：オンライン（Zoomウェビナー）

登壇者（予定）

第1席 環境省 水・大気環境局水環境課
課長補佐 百瀬嘉則

第2席 国立保健医療科学院 生活環境研究部
上席主任研究官 小坂浩司

第3席 京都大学大学院地球環境学堂
環境調和型産業論分野 准教授 田中周平

参加費：会員 無料、非会員 3,000円（税込）（学会設立50周年特別価格）

詳細は次号以降でご案内いたします。

日本水環境学会関西支部総会・講演会

日本水環境学会関西支部では、総会・講演会を下記の要領で開催いたします。講演会では、京都大学大学院教授 藤原 拓先生および准教授 濱 武英先生をお招きし、「地域社会のための研究貢献を目指して～関西からの発信～」をテーマにご講演いただきます。多くの方々のご参加をお待ちしています。

主催 日本水環境学会関西支部

期日 2022年12月2日（金）13:00～17:00

場所 アットビジネスセンター大阪梅田（701号室）

プログラム（予定）

12:30 受付開始（入室開始）

13:00～15:00 講演会

京都大学大学院工学研究科 教授 藤原 拓 氏

京都大学大学院農学研究科 准教授 濱武 英 氏

<休憩>

15:10～15:40 総会

15:40～17:00 2022年度表彰式および受賞者講演

参加費 総会・講演会：無料

申込方法 ①参加者氏名（ふりがな）、②ご所属先名、③E-mail アドレス、④電話番号、⑤会員の場合は会員番号をご記入の上（任意様式）、下記宛にE-mailでお申し込みください。

締切 2022年11月22日（火）

申し込み・問い合わせ先

近畿大学薬学部医療薬学科 准教授 緒方文彦

Tel：06-4307-4013 E-mail：ogata@phar.kindai.ac.jp

IWA 関連行事

The 9th IWA –ASPIRE Conference & Exhibition 2023

期日 2023年10月22日（日）～10月26日（木）

場所 台湾 高雄

詳細 URL <https://www.iwaaspire2023.org/>

（国際水協会 – アジア太平洋地域グループ） 2023 地域会議（台湾）での研究発表に対する 渡航費用助成対象者の募集

本会では、京都会議記念基金をもとに、2023年10月22-26日に台湾で開催される The 9th IWA-ASPIRE Conference and Exhibition 2023 での研究発表予定者に対して渡航費用などを助成します。地方の試験研究機関の会員や若手研究者など、これまで海外での学会への参加が難しかった方々に、是非ともご応募いただき、優秀な研究成果を数多く発表していただきたいと考えています。助成対象となった方には、会議参加後に参加報告書（学会誌に掲載されます）を提出していただきます。

助成が決定した場合、COVID-19の影響で開催が延期されても助成資格は維持されます。

〈募集の手引き〉

応募資格 本会の正会員で、IWA-ASPIRE 会議で研究発表（口頭発表、ポスター発表）を予定する者

助成内容 会議参加のための渡航費および滞在費

助成対象者 若干名

応募方法 助成を希望する本人が、次項の書類を提出すること

提出書類（書式は自由）

①応募者の氏名、所属、住所、Tel、Fax、E-mail、本会の年会、シンポジウム、WET、研究委員会、支部等での活動内容

②本助成を必要とする理由

③ Abstract の投稿受付を知らせるメールの写し

④発表予定の研究内容が判る資料（日本語可）

⑤本渡航費用助成への過去における応募状況

提出期限 2023年4月5日（水）

採否通知 選考結果については、2023年5月末日までに応募者に通知する。発表申込等の手続きは、本人が行うこと。ただし、IWA-ASPIRE 会議への発表申し込みが受理されなかった場合には、助成の資格を失う。

提出先 〒135-0006 江東区常盤 2-9-7
グリーンプラザ深川常盤 201 号
(公社) 日本水環境学会 派遣・招聘委員会
E-mail: kokusai@jswe.or.jp

他学会関連行事

第 28 回膜分離技術セミナー

主催 膜分離技術振興協会
期日 2022年11月17日(木) 10:00~17:00
場所 レンタルスペース パズル浅草橋 3階 B 会議室
東京都台東区浅草橋 5-2-3 鈴和ビル および web 開催 (Zoom 使用)

プログラム これから膜分離技術に携わる方々や現在、膜分離技術に携わっている現場技術者の方々を対象に、膜および膜分離技術の基礎と応用を解りやすく解説するセミナーです。

申し込み方法 下記アドレスへ E-mail にてお申込みください (会場参加 または Web 参加を選択ください)。

参加費 膜分離技術振興協会会員企業 10,000 円, 非会員企業 12,000 円, 地方自治体および学生 5,000 円

申込書等詳細 URL <http://www.amst.gr.jp/>

問い合わせ先

一般社団法人 膜分離技術振興協会
〒103-0004 東京都中央区東日本橋 3-12-11
東日本橋 TS ビル
E-mail: info@amst.gr.jp

日本海水学会 海水資源・環境研究会 海水資源・環境セミナー 2022

主催 日本海水学会 海水資源・環境研究会

協賛 日本水環境学会 ほか

期日 2022年11月25日(金)

場所 千葉工業大学津田沼キャンパス (教室調整中)

※コロナ感染状況によっては、変更の可能性有

プログラム [1] 製塩副産物の付加価値向上の検討 (公益財団法人塩事業センター 加留部智彦氏), [2] 製塩脱 K 苦汁からの Ca・Mg の回収と高品位化 (仮) (日本大学 松本真和氏), [3] 千葉ヨウ素資源の有効利用 (伊勢化学工業株式会社 浅倉聡氏), [4] ブルーカーボン研究の現在 (静岡大学 久保篤氏)。それ以外は以下詳細 URL をご参照ください。

申し込み方法 弊会 HP の申込フォームをご利用ください。

参加申込締切 2022年11月18日(金)

参加費 一般 3,000 円, 学生 1,000 円

詳細 URL <https://www.swsj.org/research/research-06.html>

問い合わせ先

日本海水学会 海水資源・環境研究会 (事務局: 邑上)
〒256-0816 神奈川県小田原市酒匂 4-13-20
Tel: 0465-47-3161 Fax: 0465-48-6242
E-mail: shigen@swsj.org

FY2022 JDA FORUM 水資源の有効活用と最新動向 ～水再利用の新展開, 海水の総合利用, 水処理への DX 展開～

主催 JDA 協会

後援 日本水環境学会ほか

期日 2022年12月13日(火)

場所 Web 開催 (Teams)

プログラム 第 1 部 水再利用の新展開 1) 米国における水飲用再利用事情 (池端慶祐様: テキサス州立大工 Assistant Professor) 第 2 部 海水の総合利用 1) 海水溶存資源の総合利用プロセス構築のための回収技術 (滝山博志様: 東京農工大 工院 教授) 2) ナイカイ塩業における海水利用プロセス～マグネシウム回収の実用例 (小林秀嗣様: ナイカイ塩業株式会社 研究開発部 部長代理) 第 3 部 水処理への DX 展開 1) AI による上水道のスマート化～可能性と課題～ (山村寛様: 中央大学 理工 教授) 2) AI を活用した RO 膜設備の最適運転 (小野崎純人様: Fracta Leap 社 DX Strategy Planning Senior Manager)
以下詳細 URL をご参照ください

参加申込締切 11 月末

参加費 会員 (法人または個人会員)・後援団体会員 7,000 円, 非会員 14,000 円, 学生 1,000 円

詳細 URL <https://www.japan-desalination.jp/>

問い合わせ先 NPO 法人 JDA 協会

E-mail: office.ai@japan-desalination.jp

おしらせ

2022 年度「名誉会員」の推薦について

名誉会員は、水環境関連分野の学術の発展に功績があった、あるいは本会に対しとくに功労があった満 70 歳以上の会員を、総会の承認を得て推戴します。本会名誉会員推薦内規により、会員は名誉会員候補者を推薦できることになっております。

なお、海外在住の外国人会員も名誉会員の対象となっております。詳細につきましては、学会事務局にお問い合わせください。

2022 年度「学会賞」, 「学術賞」 の受賞候補者の推薦について (募集)

これらの賞の選考については、それぞれの選考委員会

に対し、会員による推薦制度を設けております。下記のとおり会員各位からのご推薦を期待しています。なお、学術賞に関しては、年齢制限はありません。詳細につきましては、学会事務局までお問い合わせください。

〈学会賞〉

本会の発展に貢献あるいは水環境に関わる分野において、とくに優れた功績を認められた会員に贈られます。

1. 被推薦資格：本会の会員にして、受賞年度（2021年度）において満60歳をこえる者
2. 提出書類：①被推薦者の氏名、住所、所属、略歴等、②推薦理由書（2,000字以内）、③参考資料等、④推薦者の氏名、住所、所属

〈学術賞〉

水環境に関わる一連の論文、著作、学術的研究成果がとくに優れた会員に贈られます。

1. 被推薦資格：本会の会員であること。年齢制限はありません。
2. 提出書類：①被推薦者の氏名、住所、所属、略歴等、②対象とする研究成果、③推薦理由書（2,000字以内）、④参考資料等（論文、著作の一覧等）、⑤推薦者の氏名、住所、所属

※それぞれの賞についての提出書類の書式は自由です。
なお、参考資料の論文、著作の一覧は査読つき論文、学会プロシーディングス、解説、著作などを明確に整理し、推薦理由書等の資料は電子媒体での提出をお願いします。

提出期限 2022年11月30日（水）

提出先

〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7
グリーンプラザ深川常盤201号
（公社）日本水環境学会「学会賞」、「学術賞」係
E-mail：award@jswe.or.jp

2022年度「技術賞」および「技術奨励賞」候補者の推薦について（募集）

本会では、以下に示したような技術賞および技術奨励賞を設け、対象となる個人または団体を毎年表彰しております。受賞者（または団体）は、本学会誌に受賞者（または団体）名とその技術の受賞理由等についての記事が掲載され広く会員に周知されます。

つきましては、下記のとおり、会員からの技術賞もしくは技術奨励賞候補者の推薦をお願い申し上げます。「推薦」は自薦他薦を問いません。選考委員会にて、推薦内容を十分審議の上、技術賞、技術奨励賞いずれかの相応性も含めて選考させていただきます。なお、参考までに過去5年間の技術賞および技術奨励賞受賞テーマ一覧を掲載いたします。

●技術賞

水環境に関する調査研究または水環境技術に関して顕著な功績をなした個人または団体に授与されます。選考にあたっては、技術（調査内容、方法）の新規性や実績（たとえば処理技術の場合には実機実績等）等を加味して総合的に判断されます。

●技術奨励賞

水環境に関する調査研究または水環境技術が独創的であり将来を期待される個人または団体に授与されます。選考にあたっては、技術や調査研究の新規性のほか、学会発表や論文等で発表した成果や調査事例、パイロット試験結果等を加味して総合的に判断されます。

被推薦者の資格

本会正会員または団体正会員およびこれに所属する個人
提出書類

「技術賞・技術奨励賞提出書類様式」を学会HPよりダウンロードしてお使いください。また、各書類はpdfファイル形式で提出先メールアドレスへお送りください。

- (1) 被推薦者の氏名、住所、所属（団体の場合は名称および代表者名）、電話番号、略歴等（連名の場合、被推薦者の役割分担を明記）
- (2) 対象とする技術または調査研究名（40字以内）
- (3) 推薦理由（①技術内容（調査内容）、②開発背景、③従来技術および優位性、④技術賞は実績を記載し、技術奨励賞では実用化への取り組み、または調査研究に関しては期待される社会貢献について記載：2,000字以内）
- (4) 推薦者（氏名、住所、所属等）
- (5) 参考資料等（文献、特許、新聞記事等）

提出期間 2022年9月22日（木）～11月18日（金）

提出先（公社）日本水環境学会「技術賞および技術奨励賞」係 E-mail：award@jswe.or.jp

[参考]

過去5年間の技術賞受賞テーマ

2020年：流動担体を用いた2槽式嫌気性アンモニア酸化処理の窒素除去技術
土壌・地下水汚染地盤を掘らずに省エネ浄化できる加温式高速バイオ浄化システム

平成28年：浮上ろ材を用いた合流改善高速ろ過技術

過去5年間の技術奨励賞受賞テーマ

2021年：特殊アミンとジチオカルバミン酸による新規ニッケル排水処理技術

2019年：水中3Dスキャナーを活用した水中可視化技術
水中の有機化学物質の迅速・簡易な分析前処理技術

2018年：地域ネットワークを活用した化学物質の網羅モニタリングと統合的評価・管理手法に関する調査研究

平成29年：湖沼・河川および発生源における難分解性有機物の標準的分析手法の確立

高効率1,4-ジオキサン分解菌N23株を用いた連続回分処理技術

平成28年：下水処理施設由来の多元的環境負荷の統合評価手法

洗剤工場における製造工程排水リサイクルシステムの開発

技術賞および技術奨励賞の歴代受賞者

<https://www.jswe.or.jp/awards/gijutsu/prizewinner.html>

「水環境国際活動賞（いであ活動賞）」の募集

本会では、水環境分野での国際交流・国際協力の促進を目的として、本会の活動趣旨に沿っており、かつ優れた国際的な活動として選定されたものを「水環境国際活動賞（いであ活動賞）」として顕彰し、その費用の一部または全額を助成いたします。助成の対象者を下記のとおり募集いたします。奮ってご応募願います。

なお、この助成制度は「いであ株式会社」殿のご出捐（ご寄付）により実施するものです。

〈募集の手引き〉

応募資格 本会の個人正会員

助成内容 本会の活動趣旨に沿った優秀な国際的な活動に対して助成を行う。活動例としては、1) 海外での調査・研究活動、2) 海外または国内での、海外の話題を対象としたシンポジウムや出版等の研究情報の普及・交流活動、3) 海外または国内での、国際的なシンポジウム等の研究集会（オンライン含む）の開催等。

助成金額 30万円（上限）

助成期間 2023年4月1日～2024年3月31日
（活動期間が2024年度にわたっても可）

助成対象件数 1件

応募方法 助成を希望する本人が、以下の提出書類を作成し、期限までに郵送（簡易書留）またはE-mail (kokusai@jswe.or.jp) で提出してください。応募受付の連絡が3日以内でない場合は学会事務局にご連絡願います。

提出書類（書式は自由）

- 応募者の氏名、会員番号、連絡先住所、TEL、FAX、E-mail、所属、略歴、研究業績（主な発表論文リストや国際的な活動実績）（A4、1ページ程度）
- 活動の内容を示す計画書（目的、計画、期待される成果を含めA4、2ページ程度）
- 必要経費の概算書（活動全体にかかる経費（自己資金を含む）と本会からの助成希望金額を明記してください）

提出期限 2023年1月13日（金）必着

提出先

〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201号

（公社）日本水環境学会 水環境国際賞選考委員会
（簡易書留で封筒表に「水環境国際活動賞」と朱書きしてください）

E-mail (kokusai@jswe.or.jp) での提出も可（件名に「水環境国際活動賞」と記載してください）

合否通知 選考結果については、2023年2月までに応募者に通知いたします。

その他 受賞者には活動に関する報告書を作成し、学会へ提出していただきます。

日本下水道新技術機構

「令和5年度 下水道新技術研究助成事業」の募集

募集期間：2022年10月4日～12月20日

応募資格：大学、短期大学、高等専門学校に属する個人または研究グループ（年齢不問）

助成件数：数件

助成金額：1件当たり年間200万×2年間（上限）

応募方法：所定の申請書に必要事項を記入し、電子メールにて提出（下記URL参照）

決定期間：2023年4月上旬

詳細URL：<https://www.jiwet.or.jp/research-development/kenkyuujosei>

問い合わせ先

公益財団法人 日本下水道新技術機構

研究第一部 担当：阿部・後藤・松本

〒162-0811 東京都新宿区水道町 3-1

Tel：03-5228-6597 Fax：03-5228-6512

E-mail：grant@jiwet.or.jp

JST 第2回羽ばたく女性研究者賞 （マリア・スクウォドフスカ＝キュリー賞）

JSTでは羽ばたく女性研究者賞（マリア・スクウォドフスカ＝キュリー賞）の、第2回の募集を開始しました。詳細は下記URLからご確認ください。

【募集期間】 2022年9月30日（金）～12月12日（月）
日本時間正午まで

【詳細情報】 <https://www.jst.go.jp/diversity/researcher/mscaward/index.html>

問い合わせ先

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

科学技術イノベーション人材育成部

ダイバーシティ推進室

E-mail：global@jst.go.jp

水生生物調査法に関する冊子等のご案内

本会では、環境省水・大気環境局と国土交通省水管理・国土保全局編の水生生物による水質判定に関する冊子と下敷きを販売しております。これらは、小・中学生をはじめ、一般の方々にも身近な自然に接しながら、水辺の環境を理解していただくために大いに役立っております。水生生物調査法にご関心のある方に、広くご利用いただくようお願いいたします。購入ご希望の方は、下記「購入申込書」にご記入のうえ、E-mailまたはFaxにてお申し込みください。学会ホームページ（下記URLまたはQRコード）からも「購入申込書」をダウンロードできますのでご利用ください。

(<https://www.jswe.or.jp/community/booklet/index.html>)



記

定価表（円）

品名	価格
1. 川の生きものを調べよう（冊子）	173円（税抜158円）
2. 川の生きものを調べよう（下敷）	180円（税抜164円）

送付先1ヶ所あたりの購入数が合計500部以上の場合は、当方で送料を負担いたします。
500部未満は実費をご負担願います。

【申込先】 公益社団法人 日本水環境学会

〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7 グリーンプラザ深川常盤201号

Tel : 03-3632-5351 Fax : 03-3632-5352 E-mail : infobio@jswe.or.jp

購 入 申 込 書

品名	価格	購入数
1. 川の生きものを調べよう（冊子）	173円（税抜158円）	部
2. 川の生きものを調べよう（下敷）	180円（税抜164円）	枚

送付先1ヶ所あたりの購入数が合計500部以上の場合は、当方で送料を負担いたします。
500部未満は実費をご負担願います。

上記のとおり購入を申し込みます。

（西暦） 年 月 日

〔送り先〕

所在地 〒

名称

担当者名 電話 FAX

支払い方法（いずれかに○印）（ 銀行振込 または 郵便振替 ）

*お振り込みの際の振込手数料はご負担をお願いいたします。

*請求書の様式、宛先、納入日、その他ご指定がございましたらご記入ください。

本冊子は「特集企画編」です。「原著論文編」は、国立研究開発法人科学技術振興機構「科学技術情報発信・流通システム（J-STAGE）」に掲載しています。<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jswe/-char/ja/>